
ADVANTEST®

株式会社アドバンテスト

取扱説明書

TR1927

バッテリー・パック

MANUAL NUMBER 0709 0A 804

当社の製品が外国為替および外国貿易管理法の規定により、戦略物資あるいは役務等に該当する場合、輸出する際には日本国政府の許可が必要です。

禁無断複製転載

© 1978 株式会社アドバンテスト

TR 1927 DC POWER SUPPLY

取扱説明書

1. 概要

TR 1927 DC POWER SUPPLYは、内部にNi-Cd電池を使用した TR 4122および TR 4132/N用の充電可能な直流電源です。

2. 規格

| | | |
|--------|---|--|
| 内部電池容量 | : | 10AH (12V) ニッケル・カドミウム電池 |
| 連続動作時間 | : | 約1.5時間 (TR 4122A/C 接続時) 約1.0時間 (TR 4122B/C 接続時) 約3.5時間 (TR 4132/N 接続時) |
| 充電時間 | : | 約15時間 |
| 外部電池 | : | +10V~+15V |
| 充電電圧 | : | AC100V±10% 50/60Hz 約35VA |
| 周囲温度 | : | 0℃~+35℃ (動作時) -30℃~+35℃ (長期保存時) |
| 外形寸法 | : | 約294(幅)×87(高)×500(奥行)mm |
| 重量 | : | 約12kg |

3. 付属品

| | |
|-------------------------------|---|
| 取扱説明書 | 1 |
| 入力ケーブル (MP-38) | 1 |
| 出力ケーブル (MM-16) | 1 |
| ヒューズ 0.8A スロー・ブロー (EAWK-0.8A) | 2 |
| ヒューズ 10A 普通溶断型 (F716-10A) | 2 |

4. パネル面の説明

図1を参照して下さい。

① アース端子

本器のきょう体の接地用端子です。

② AC電源コード

TR 1927を充電する時、AC電源と接続するためのコードです。電源電圧が表示値±10%内であることを確認してから接続して下さい。

③ T 0.8 A

AC電源ラインのヒューズです。0.8Aのスロー・ブロー・ヒューズを使用しています。

④ 「DC POWER OUTPUT」コネクタ

TR 1927の直流電圧出力コネクタです。TR 4122または TR 4132/N背面パネルの「EXT・DC INPUT」コネクタと専用ケーブル(MM-16)で接続します。

⑤ 「POWER」スイッチ

TR 1927の「POWER」スイッチです。「CHARGE」側に設定し、⑩のスイッチを「INT・DC」にしますと内部のNi-Cd電池の充電を行ないます。「ON」に設定しますと、「DC POWER OUTPUT」コネクタから直流電圧が出力されます。

⑥ 「CHARGE」ランプ

「CHARGE」(充電中)であることを示すランプです。

充電時間規格は15時間です。15時間以上の充電は絶対に行なわないで下さい。

⑦ 「ON」ランプ

TR 1927が動作していることを示すランプです。このランプがついても TR 4122または TR 4132/Nと接続され、TR 4122または TR 4132/N「POWER MODE」スイッチが「DC」、 「POWER」スイッチが「ON」に設定されないと、出力は出ません。

⑧ 「LOW BATT・」ランプ

内部電池の電圧が1.05V以下になると、このランプが点灯します。このランプがつきましたら、本器の使用を止めて下さい。なお外部電池使用の時は、電圧が1.5Vになると点灯します。

⑨ FUSE 10A

バッテリーからの電流路に入っているヒューズです。10Aの普通溶断ヒューズが入っています。

ヒューズ規格はF7165-10Aです。

⑩ 「INT. DC/EXT. DC」スイッチ

内部電池と外部電池を切り換えるスイッチです。充電時には、「INT. DC」に設定して下さい。

なお本器では、外部電池の充電はできません。

⑪ 「INPUT」コネクタ

外部電池使用時の入力コネクタです。

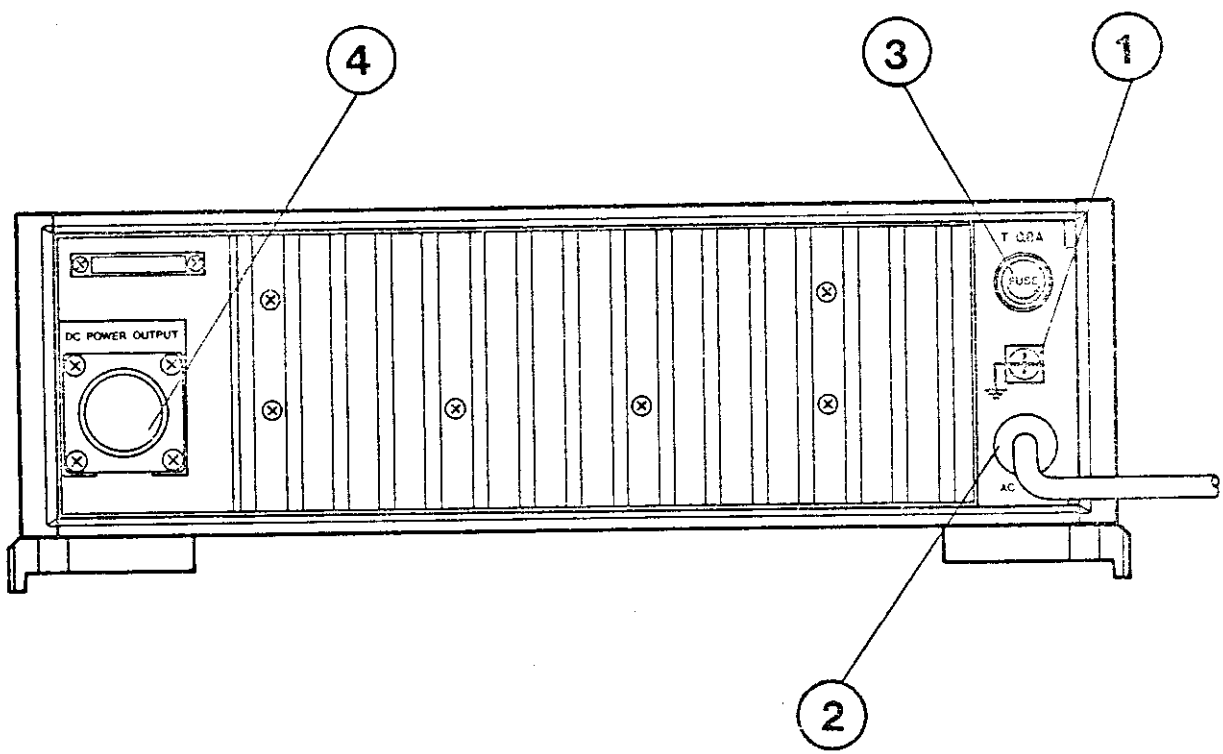
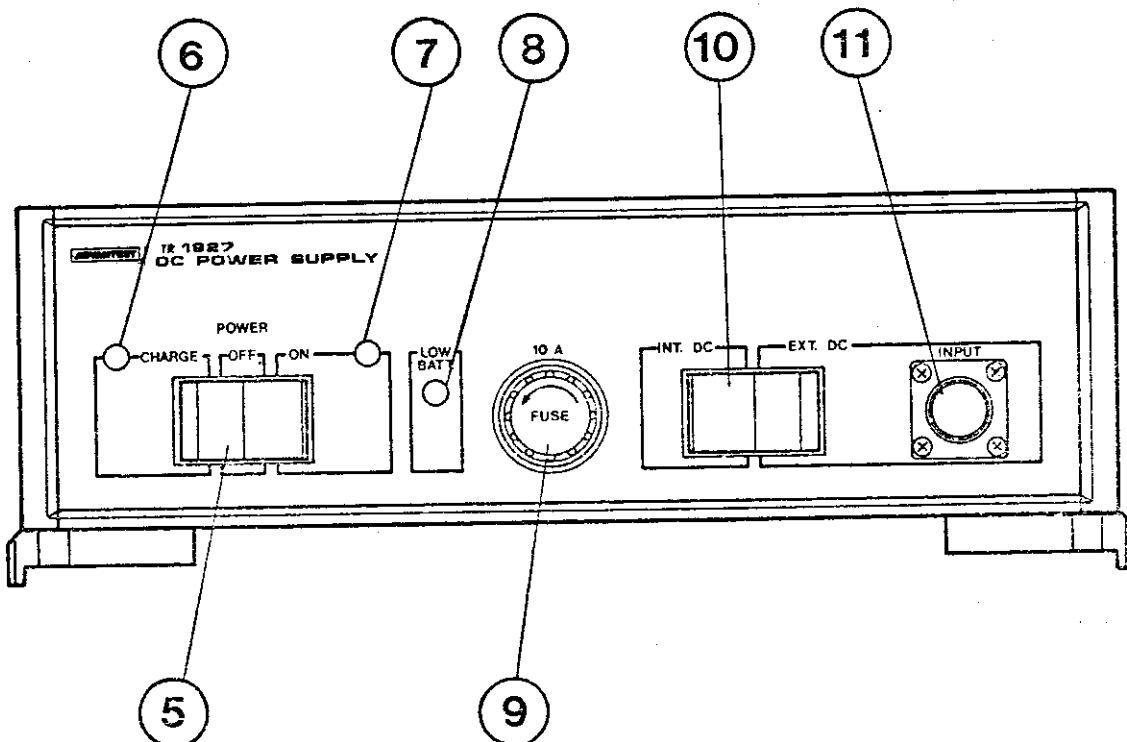


図1 パネル面の説明

5. TR 4122との接続

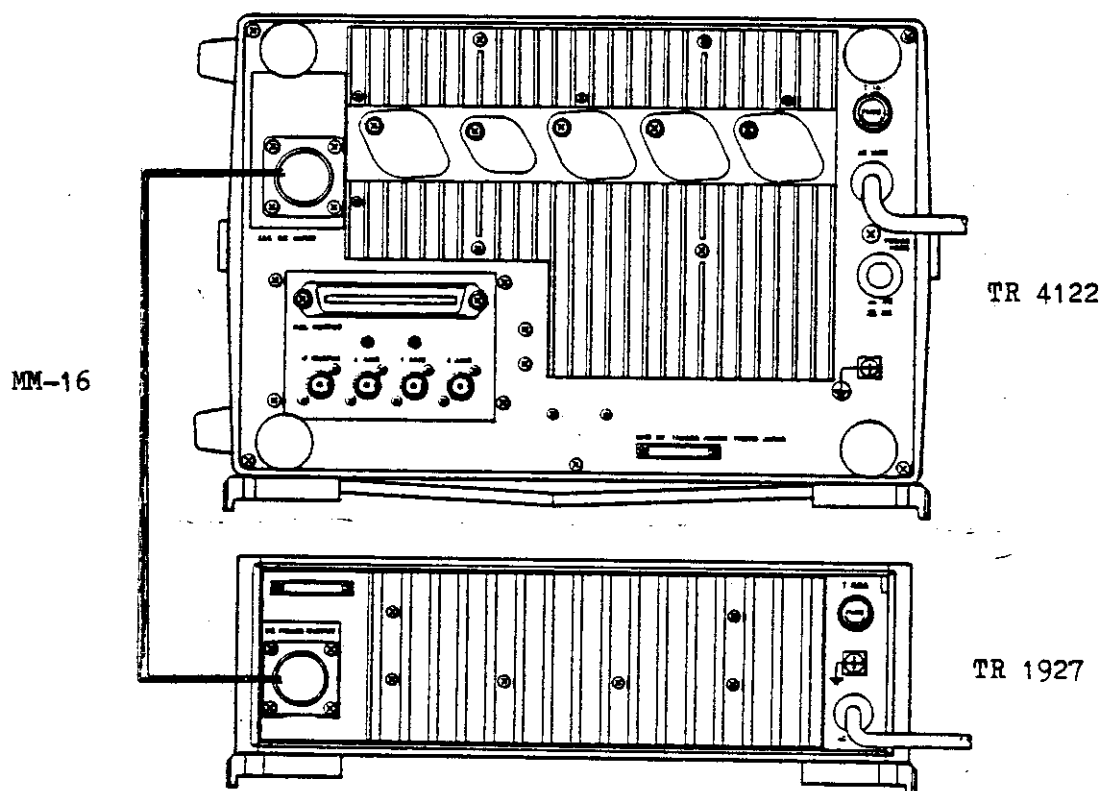


図2 TR 4122とTR 1927の接続図

- ① TR 4122およびTR 1927の「POWER」スイッチが「OFF」に設定されていることを確認して下さい。
- ② TR 1927の「DC POWER OUTPUT」とTR 4122の「EXT DC INPUT」コネクタを専用ケーブル（MM-16）で接続します。
- ③ TR 4122背面パネルの「POWER MODE」スイッチを「DC」に設定して下さい。
- ④ TR 1927正面パネルの「INT. DC/EXT. DC」スイッチを、使用する電池によって設定して下さい。
- ⑤ TR 1927正面パネルの「POWER」スイッチを「ON」にして下さい。
- ⑥ TR 4122正面パネルの「POWER」スイッチを「ON」にしますと「DC ON」ランプが点灯し、動作を開始します。

6. TR 4132/Nとの接続

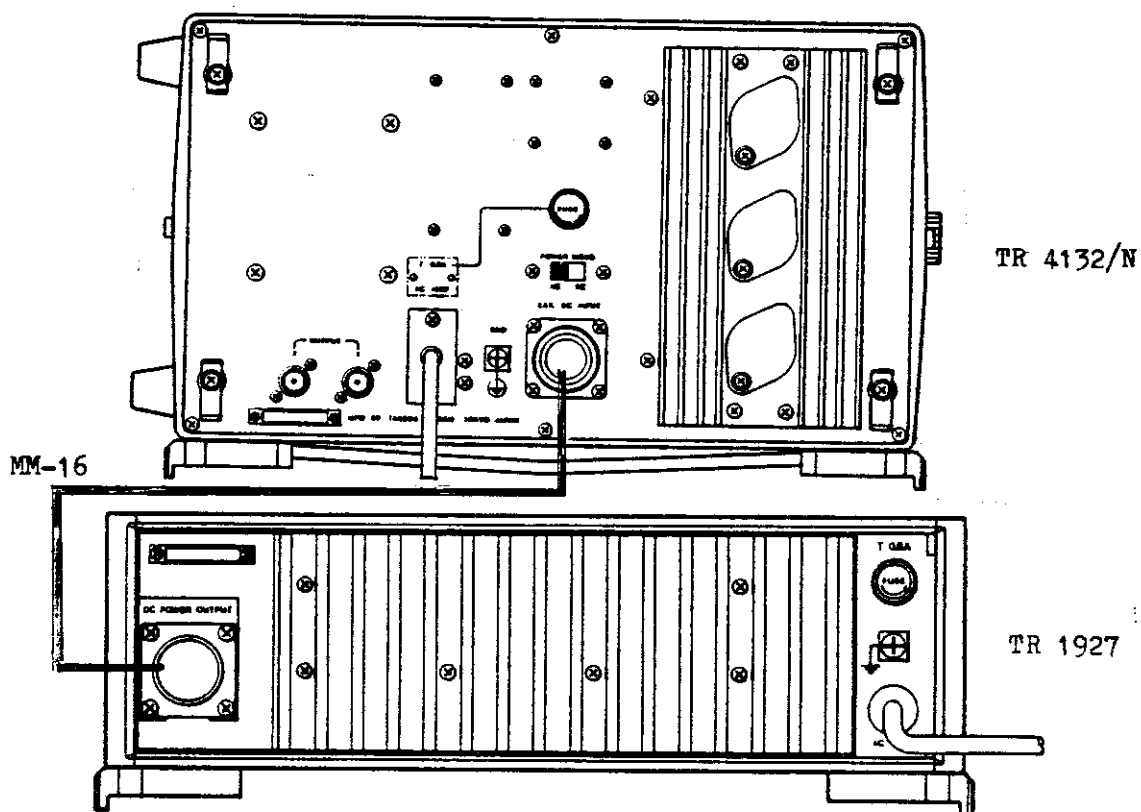


図3 TR 4132/Nと TR 1927の接続図

- ① TR 4132/Nおよび TR 1927の「POWER」スイッチが「OFF」に設定されていることを確認して下さい。
- ② TR 1927の「DC POWER OUTPUT」と TR 4132/Nの「EXT. DC INPUT」コネクタとを専用ケーブル (MM-16) で接続して下さい。
- ③ TR 4132/N背面パネルの「POWER MODE」スイッチを「DC」に設定して下さい。
- ④ TR 1927正面パネルの「INT. DC/EXT. DC」スイッチを、使用する電池によって設定して下さい。
- ⑤ TR 1927正面パネルの「POWER」スイッチを「ON」に設定して下さい。
- ⑥ TR 4132/N正面パネルの「POWER」スイッチを「ON」に設定しますと動作を開始します。

- ⑦ 内部電池の電圧が、10.5 V (外部電池の場合は 11.5 V) になりますと、「LOW BATT.」ランプが点きます。なお、内部回路の電圧が、9 V以下になりますと、内部電池及び回路保護のため、自動的に TR 1927 の動作が停止します。

7. 外部電池使用法

- ① TR 4122 または TR 4132/N および TR 1927 の「POWER」スイッチが「OFF」に設定されていることを確認して下さい。
- ② 「EXT. DC INPUT」コネクタに、専用ケーブルで外部電池を接続して下さい。(電流は 8 A 程度です。電圧は +10 ~ +15 V です。)
- ③ スwitch を「EXT. DC」に、設定して下さい。
- ④ あとは 5. と同様の手順です。

8. 内部電池充電のしかた

- ① TR 1927 の「POWER」スイッチが「OFF」に設定されていることを確認して下さい。
- ② AC 電源コードを接続して下さい。
- ③ 「INT. DC」側にスイッチを設定して下さい。
- ④ 「POWER」スイッチを「CHARGE」に設定して下さい。
この状態で 15 時間おけば、内部電池の充電が完了します。

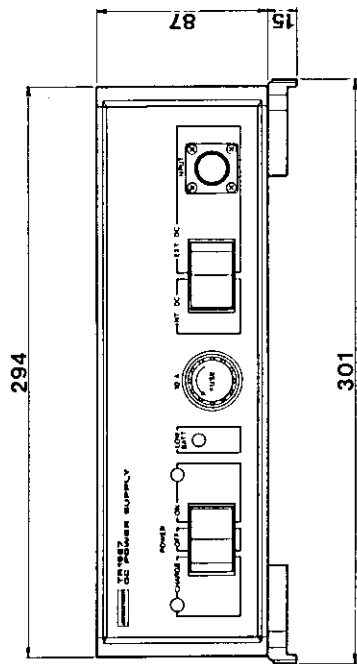
9. Ni-Cd 電池の取扱いについて

① 本器は公称電圧 12 V, 公称容量 10 AH の Ni-Cd 電池を使用していますので, 特に保守の必要はありません。

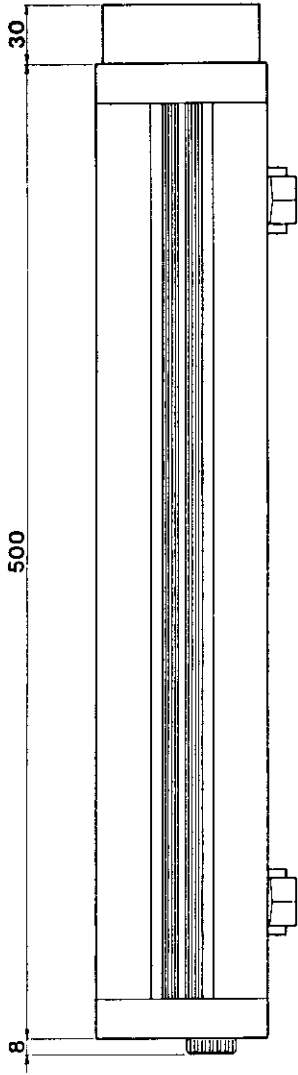
② 電池の寿命は, 通常の場合 300 回以上充放電を繰り返すことができますが, 使用時の周囲温度, 充電及び放電の深さ等によつて異なります。特に周囲温度は, 次の温度以下で使用して下さい。

| | | |
|-------|---|-----------|
| 放電時 | : | 0℃~+35℃ |
| 充電時 | : | 0℃~+35℃ |
| 長期保存時 | : | -30℃~+35℃ |

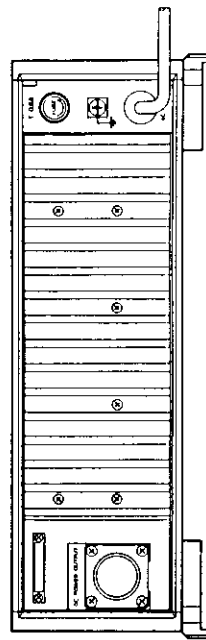
③ 使用済の電池は, みだりに捨てないで下さい。使用済の電池の処分にお困りの方は, 最寄りの営業所, 出張所までご連絡下さい。



FRONT VIEW



SIDE VIEW



REAR VIEW

TR1927
EXTERNAL VIEW

本製品に含まれるソフトウェアのご使用について

本製品に含まれるソフトウェア（以下本ソフトウェア）のご使用について以下のことにご注意下さい。

ここでいうソフトウェアには、本製品に含まれる又は共に使用されるコンピュータ・プログラム、将来弊社よりお客様に提供されることのある追加、変更、修正プログラムおよびアップデート版のコンピュータ・プログラム、ならびに本製品に関する取扱説明書等の付随資料を含みます。

使用許諾

本ソフトウェアの著作権を含む一切の権利は弊社に帰属いたします。

弊社は、本ソフトウェアを本製品上または本製品とともに使用する限りにおいて、お客様に使用を許諾するものといたします。

禁止事項

お客様は、本ソフトウェアのご使用に際し以下の事項は行わないで下さい。

- 本製品使用目的以外で使用する事
- 許可なく複製、修正、改変を行う事
- リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルなどを行う事

免責

お客様が、本製品を通常の用法以外の用法で使用したことにより本製品に不具合が発生した場合、およびお客様と第三者との間で著作権等に関する紛争が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

保証について

製品の保証期間は、お客様と別段の取り決めがある場合または当社が特に指定した場合を除き、製品の納入日(システム機器については検取日)から1年間といたします。保証期間中に、当社の責めに帰する製造上の欠陥により製品が故障した場合、無償で修理いたします。ただし、下記に該当する場合は、保証期間中であっても保証の対象から除外させていただきます。

- 当社が認めていない改造または修理を行った場合
- 支給品等当社指定品以外の部品を使用した場合
- 取扱説明書に記載する使用条件を超えて製品を使用した場合(定められた許容範囲を超える物理的ストレスまたは電流電圧がかかった場合など)
- 通常想定される使用環境以外で製品を使用した場合(腐食性の強いガス、塵埃の多い環境等による電気回路の腐食、部品の劣化が早められた場合など)
- 取扱説明書または各種製品マニュアルの指示事項に従わずに使用された場合
- 不注意または不当な取扱により不具合が生じた場合
- お客様のご指示に起因する場合
- 消耗品や消耗材料に基づく場合
- 火災、天変地異等の不可抗力による場合
- 日本国外に持出された場合
- 製品を使用できなかったことによる損失および逸失利益

当社の製品の保証は、本取扱説明書に記載する内容に限られるものとします。

保守に関するお問い合わせについて

長期間にわたる信頼性の保証、国家標準とのトレーサビリティを実現するためにアドバンテスでは、工場から出荷された製品の保守に対し、カスタム・エンジニアを配置しています。

カスタム・エンジニアは、故障などの不慮の事故は元より、製品の長期間にわたる性能の保証活動にフィールド・エンジニアとしても活動しています。

万一、動作不良などの故障が発生した場合には、当社のMS(計測器)コールセンターにご連絡下さい。

製品修理サービス

- **製品修理期間**
製品の修理サービス期間は、製品の納入後10年間とさせていただきます。
- **製品修理活動**
当社の製品に故障が発生した場合、当社に送っていただく引取り修理、または当社技術員が現地に出張しての出張修理にて対応いたします。

製品校正サービス

- **校正サービス**
ご使用中の製品に対し、品質および信頼性の維持を図ることを目的に行うもので、校正後の製品には校正ラベルを貼付けし、品質を保証いたします。
- **校正サービス活動**
校正サービス活動は、株式会社アドバンテス カスタマサポートに送っていただく引取り校正、または当社技術員が現地に出張しての出張校正にて対応いたします。

予防保守のおすすめ

製品にはエレクトロニクス部品およびメカニカル部品の一部に寿命を考慮すべき部品を使用しているため、定期的な交換を必要とします。適正な交換期間を過ぎて使用し発生した障害に対しては、修理および性能の保証ができません場合があります。

アドバンテスでは、このようなトラブルを未然に防ぐため、予防保守が有効な手段と考え、予防保守作業を実施する体制を整えています。

各種の予防保守を定期的実施することで、製品の安定稼働を図り、不意の費用発生を防ぐため、年間保守契約による予防保守の実施をお勧めいたします。

なお、年間保守契約は、製品、使用状況および使用環境により内容が変わりますので、最寄りの弊社営業支店にお問い合わせ下さい。

ADVANTEST

<http://www.advantest.co.jp>

株式会社アドバンテス

本社事務所
〒100-0005 千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービルディング
TEL: 03-3214-7500 (代)

第4アカウント販売部(東日本)
〒100-0005 千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービルディング
TEL: 0120-988-971
FAX: 0120-988-973

第4アカウント販売部(西日本)
〒564-0062 吹田市垂水町3-34-1
TEL: 0120-638-557
FAX: 0120-638-568

★計測器に関するお問い合わせ先

(製品の仕様、取扱い、修理・校正等計測器関連全般)

MS(計測器)コールセンタ ☎ TEL 0120-919-570
FAX 0120-057-508
E-mail: icc@acs.advantest.co.jp